

あおぞら

行方市 社協だより

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



玉造地区



北浦地区



麻生地区



給食サービス (詳細記事は p 9)

P12

善意銀行・編集後記

P11

共同募金実績優秀顕彰
在宅言語リハビリ
アドバイス利用者募集

P10

元気で〜さ〜びす館
参加者募集

P9

のびのびサポート参加者募集
給食サービス利用者募集

P8

顕彰

P6-7

「グループホーム
すずらんハウス」

P5

いきいき長寿者紹介
堀田 てるさん
(行方市行方在住)

P4

平成29年度社協の予算

P3

平成29年度社協の事業

P2

会長あいさつ

目次

会長 あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会

会長 鈴木 周也

市民の皆様には、日頃より、社会福祉協議会の活動に對しまして、格別なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、少子高齢化の進行に伴い、家族や地域社会の様相が大きく変容しています。また、地域や住民個人が抱える課題やニーズも多様化・複雑化していることから、これらに因應するための様々な支援や住民活動の在り方が問われています。

このような状況を踏まえ、昨年度、社会福祉協議会と市が一体となり、「誰もがみんな ふれ合い 支え合い 助け合うまち なめがた」を基本理念とした「行方市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画では、まず身近な地域で市民自らが家族を基本とした「自助」の精神を持ち、次に近隣や地域に存在

する人材、施設等の社会資源を活用しながら「共助」の精神で共に助け合う、さらに、自助や共助では対応しきれない課題に対して、「公助」として行政が地域を支える、このような関係を築き、市民誰もが何らかの形で地域福祉に関わっていくことを目指しています。市民一人ひとりが、住み慣れた家庭と地域で生きがいを実感し、地域に誇りと愛着を持って「住み続けたい」と心から思えるまちをつくるためには、住民参画が不可欠であります。

これからも私ども社会福祉協議会は、皆様に寄り添い、地域福祉像である『笑顔で住み続けたいまち 行方』を実現するために、役職員一丸となって地域福祉活動の推進に努めてまいりますので、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年度 行方市社会福祉協議会 事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業

- 高齢者福祉事業
 - ・給食サービス事業
 - ・介護予防事業
- (1) 介護予防教室
- (2) 高齢者サロン
- 障害者(児) 福祉事業
 - ・びっくり・発見・夏キャンプ
 - ・のびのびサポート事業
 - ・視覚障害者用録音物配布事業
 - ・障害者スポーツ大会参加者支援
 - ・こころのサロン
- 母子・父子福祉事業
 - ・ひとり親家庭事業
 - (1) ふれあい遠足
 - (2) 新入学祝品贈呈
- 子育て支援事業
 - ・子育てサポート事業
 - ・養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
 - ・ボランティアセンターの運営強化
 - ・ボランティア講座の実施
 - ・ボランティアグループの育成・援助
- 福祉教育の推進
- 共同募金運動
- 歳末たすけあい運動
- 福祉関係団体の支援

相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業

資金貸付事業

- 生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業

- 福祉機器(車いす等)貸出事業
- 福祉車輻貸出事業
- 訪問歯科治療器具貸出事業
- 在宅言語リハビリアドバイザー事業
- 在宅福祉サービスセンター運営事業
- 軽度生活援助事業

広報啓発事業

- 広報誌「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

障害者総合支援事業

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行援護
- 行動援護
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

地域生活支援事業

- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

その他社会福祉関連事業

- デマンド型コミュニケーションバス(乗合タクシー)事業

当事者団体支援事業

- 行方市ボランティア連絡協議会
- 行方市老人クラブ連合会
- 行方市身体障害者福祉協議会
- 行方市遺族会



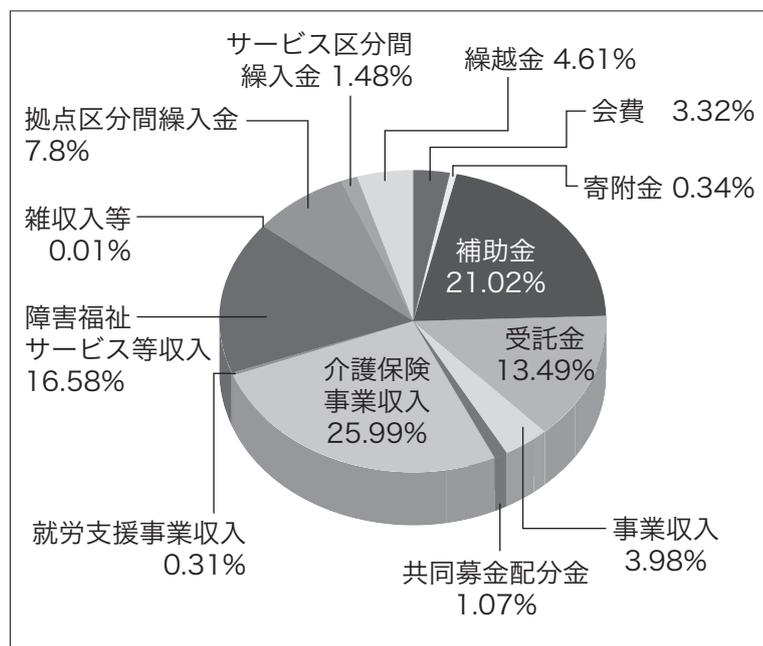
平成29年度 行方市社会福祉協議会予算

平成29年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費や介護報酬のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等を財源としており様々な福祉事業に役立てられます。

予算総額 303,595,000円

収入

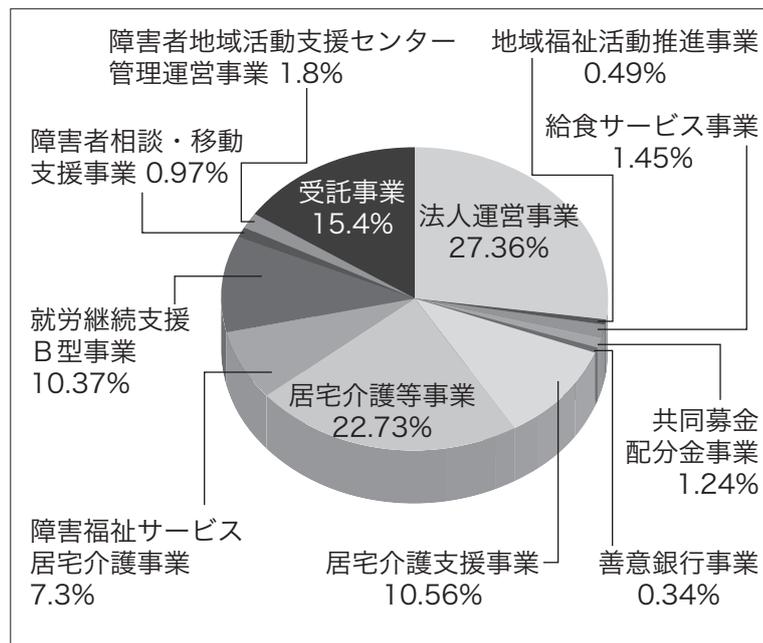
(単位：千円)



| | |
|---------------|---------|
| 会費 | 10,090 |
| 寄附金 | 1,030 |
| 補助金 | 63,808 |
| 受託金 | 40,968 |
| 事業収入 | 12,090 |
| 共同募金配分金 | 3,262 |
| 介護保険事業収入 | 78,892 |
| 就労支援事業収入 | 933 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 50,338 |
| 雑収入等 | 13 |
| 拠点区分間繰入金 | 23,688 |
| サービス区分間繰入金 | 4,502 |
| 繰越金 | 13,981 |
| 合計 | 303,595 |

支出

(単位：千円)



| | |
|---------------------|---------|
| 法人運営事業 | 83,066 |
| 地域福祉活動推進事業 | 1,477 |
| 給食サービス事業 | 4,393 |
| 共同募金配分金事業 | 3,764 |
| 善意銀行事業 | 1,031 |
| 居宅介護支援事業 | 32,064 |
| 居宅介護等事業 | 68,998 |
| 障害福祉サービス居宅介護事業 | 22,154 |
| 就労継続支援B型事業 | 31,492 |
| 障害者相談・移動支援事業 | 2,937 |
| 障害者地域活動支援センター管理運営事業 | 5,462 |
| 受託事業 | 46,757 |
| 合計 | 303,595 |

いきいき長寿者紹介

堀田てるさん 91歳（行方市行方）



堀田さんは、玉造地区の手賀の生まれで5人姉妹の長女、跡取り娘として育てられてきたそうです。結婚をされ、麻生地区行方に移り住み2人のお子さん

にも恵まれました。上の娘さんを小学生の時に病気で亡くされ、旦那さんも37年前、ご自身が54歳の時に交通事故で亡くされてしまいました。それから、「親一人子一人で頑張ったよ。」と、おっしゃっていました。

血液型O型

誰にでも合わせる事ができるのよ

「バイクの免許を取って、地区の婦人部会の役員を頑張ったのよ、当時はいろいろあったけど、楽しかったよ。」と話してくれました。

現在は、おひとり暮らしではありますが、かわいい猫・犬と毎日を楽しく過ごされているのでさみしさもまぎれているようです。

また、堀田さんに趣味や生きがいは何ですかと尋ねると、「特にないけど、風もない穏やかな日に、庭木の手入れをすることが楽しみです。」と答えてくれました。おっしゃるとおり庭先にはきれいに剪定された植木がありました。



それに、「月三回水曜日に届く給食のお弁当です。」と、何から何まで自分でやっている堀田さんにとって楽しみの一つでもありますと話してくれました。

また、堀田さんには好きな言葉がありますとのこと。「人に泣かされても、人を泣かすもんじゃない。」

この言葉があって今の私があるのだと、ひとつひとつの質問に丁寧に答えてくださいました。

これからも健康第一！いつまでもお体に気を付けて、元気でお過ごしください。

福祉な声

私たちの住む地域には、様々な福祉の施設があります。今回は、障害者グループホームすずらんハウスでサービスを提供している世話人の方々や利用者の方にお話をお伺いしました。本当の家族のような暮らしがあり、また自己の確立もできる。それがグループホームの姿であり目標でもあります。20代から50代の方々4人が世話人とともに家族同様の暮らしをしています。

すずらんハウス

自分に合った生活を選び充実した毎日を送っています。休日には実家に帰る人、世話人と買い物をする人、ハウスでゆっくり過ごす人など自由を楽しんでいます。

住所：行方市山田3365-5 電話：0291-32-8802

たまたま知的障害をもった母娘に出会い、そこで話されたお母さんからの「私がいなくなったらこの子はどうなるか、心配で眠れない!」という親亡き後の娘を案じる深刻な思いでした。グループホームは両親と離れて暮らせる場所です。時々実家に帰って家族との触れ合いも自由できます。そんな家があったらいいのになー。という思いで始めました。

管理者 Hさん

私の親戚の子が障害者施設でお世話になっています。

微力ながら、お手伝いできればと思いはじめました。

世話人 kさん

この仕事を始めたきっかけは

人が足りないので・・・頼まれたのがきっかけでしたが、今では一軒の家庭のようなホームの中でやりがいを感じながら自立へのお手伝いをさせていただいています。

世話人 Hさん



みんなで夕飯の準備です



一緒に夕飯作り「今日は何かな～」

日々の仕事の内容

母親役でしょうか・・・夕方4時に出勤して、入居者さんが帰宅したら普通の家庭と同じように、洗濯・風呂掃除・入浴などのお手伝いしながら、食事の支度をして一緒に食事をします。夜は泊まって、翌朝、朝食の準備をしながら4人分のお弁当を作ります。8時過ぎに「いってらっしゃい!」で世話人業務が終わります。

管理者 Hさん

自分でできることは自分で、ちょっとしたことでも褒めてあげる。入居したばかりの子に「ありがとう」と言われたことが今でも忘れられません。 世話人 kさん

愛情と思いやりを持ってそれぞれが楽しくらせるように心がけています。一緒に何かを成し遂げられた折には、この仕事をやっていてよかったと感じます。 管理者 Hさん

心がけていること、やりがいや魅力は

利用者が皆、仲よく家族のように生活してほしいと心がけています。 世話人 Sさん

障害の程度も違い、個性も色々なので相手の気持ちを理解してあげられるようにと接しています。 世話人 Hさん

イベント等を通して障害のある方が生きがいを持つ場面を増やしてほしい。 世話人 Sさん

要望等がありますか？



お風呂そうじ終了です

グループホームの必要性を広く知らせてほしい
入居者さんの経済的負担が軽減され多くの方が利用しやすい環境を整えたいと思います。 管理者 Hさん



地域の方々から温かい理解をいただくことによって
障害を持つ仲間の幸せ度は大きく変わります。
偏見のない地域になりますように！



ある日の夕食

～利用者さんの声～

- * 世話人の方がとても優しいので居心地がとても良い。少し太りました。(Hさん)
- * 世話人の方が作るカレーが大好きです。(Nさん)
- * 手作りのハンバーグが大好きです。(Iさん)
- * 世話人の方、みんな大好きです！みんなで仲良くゲームをしたりして遊ぶことが楽しいです。頑張って自立したい！！(Mさん)

平成28年度 社会福祉功労者等を表彰

平成29年3月29日（水）に行方市役所玉造庁舎第2会議室において、行方市社会福祉協議会顕彰式が開催されました。

式では、多年にわたり市内で社会福祉に功労のあった方々や、社会福祉活動に協力・援助された方々の表彰を行いました。受賞された方は次のとおりです。

(以下、敬称略・順不同)



行方市社会福祉協議会 会長表彰

民生委員・児童委員で功績顕著な方々 3名

◆ 邊田茂雄 ◆ 久保田喜裕 ◆ 柳町直美

社会福祉活動に功績顕著な方々 5名

ボランティア個人

◆ 柳瀬徳造 ◆ 田中 香 ◆ 田村耕治 ◆ 若杉明子 ◆ 仲田たか子

社会福祉協議会の理事・評議員で功績顕著な方々 9名

社会福祉協議会評議員

◆ 菅谷京子 ◆ 藤崎登美子 ◆ 寺内泰夫 ◆ 高橋さち子 ◆ 根本 憲
◆ 代々城千壽 ◆ 飯田敏雄 ◆ 酒井美智子 ◆ 市村 靖

行方市社会福祉協議会 会長感謝

社会福祉活動を積極的に援助した団体・個人に対して感謝の意を表すものです。

◆ なめがた農業協同組合 ◆ 行方畜産まつり運営委員会 ◆ 飯島孝雄

夏休み、みんなで一緒に過ごしませんか？



のびのびサポート

参加者募集

対象者 市内在住の特別支援学校等の児童・生徒

※処遇することが困難な医療を要する方を除く

実施日 平成29年 7月25日(火) 26日(水) 27日(木) 28日(金)

8月 4日(金) 8日(火) 9日(水)

10日(木) 17日(木) 18日(金) 合計10日間

時間 午前9時から午後4時まで

場所 行方市玉造保健センター

内容 集団(音楽)遊び、自由遊び、プール等

定員 10名(定員を超えた場合は抽選により決定いたします)

参加費 1,000円(1日あたり)



利用者募集のお知らせ

給食サービス事業を利用してみませんか？

調理ボランティア・配食ボランティアが、調理したお弁当をお届けするサービスです。安否の確認や地域の方々との交流を目的としています。

ぜひ、ご利用ください。

利用対象者

- (1) 65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯
- (2) 身体障害者、知的障害者及び精神障害者で単身又は障害者のみの世帯
- (3) その他

利用料金 1食150円

利用日 各地区(麻生・北浦・玉造)年間予定日(33回/年)が決まっております。



参加してみませんか？



元気で～さ～びす館

(第1号通所介護事業)

元気で～さ～びす館では、引きこもり予防や健康・仲間づくりを目的に、みんなで楽しく交流を図っております。参加ご希望の方は下記まで、ご連絡下さい。

1. **対象者** 他の通所型サービスを利用していない下記の方
 - ・要支援認定を受けた方（要介護認定を受けた方は、対象外）
 - ・基本チェックリスト該当者（事業対象者）
2. **内容** シルバーリハビリ体操・レクレーションやゲーム
文化活動（音楽・絵手紙）など
3. **実施日及び場所**

月に2回程度（午前10時30分～午後3時）
 麻生地区：天王崎観光交流センターコテラス
 北浦地区：小貫地区学習センター
 玉造地区：手賀地区学習センター
4. **利用料** 一回当たり250円（2割負担の方は500円）※一定以上の所得の方
5. **参加料** 750円（食事・おやつ代等）
6. **送迎** 自宅まで送迎いたします。但し、道路状況により自宅付近となる場合があります。

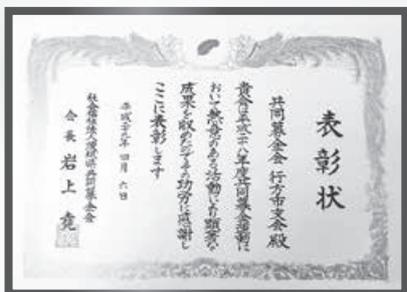


◆◆◆ 一日の過ごし方 ◆◆◆

- 9：00～10：20 送迎・受付
 10：30～11：30 シルバーリハビリ体操
 11：30～13：00 昼食・休憩
 13：00～14：30 レクリエーション等
 14：30～15：00 おやつ・送迎



共同募金実績優秀支会顕彰式



— 行方市支会 顕彰を受ける —

平成 29 年 4 月 6 日に開催された募金実績優秀支会顕彰式にて、平成 28 年度の共同募金運動において市民の皆様の共同募金へのご理解ご協力のもと、優秀な募金実績のある支会として顕彰されました。

ご協力ありがとうございました。

在宅言語リハビリアドバイス事業



こんなお悩みありませんか？

- 食事が飲み込みづらい、飲み込みに時間がかかる
- 「話す」「聞く」「書く」「読む」がしづらい

ケガや病気、障害の影響により、嚥下やことばによるコミュニケーションに不便を感じている方を対象に、言語聴覚士による定期的な訪問活動を行っています。

健康的な在宅生活の維持の為、相談してみませんか？



実施日 毎月一回（右記スケジュールによる）

対象者 行方市内在住の方

内容 言語聴覚士の訪問による
相談・助言（30分程度）



実施予定日

| | |
|----------|-----------|
| 4月10日（月） | 10月16日（月） |
| 5月15日（月） | 11月13日（月） |
| 6月12日（月） | 12月11日（月） |
| 7月10日（月） | 1月15日（月） |
| 8月7日（月） | 2月19日（月） |
| 9月11日（月） | 3月19日（月） |

「あおぞら」の記事に関するお問合せは下記までお願い致します。

☎ 0299（36）2020 FAX 0299（55）4545

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

寄付金

| 預託者名 | 金額(円) | 指定先 |
|----------------------|---------|-----|
| 稲田孝行 | 10,000円 | 無指定 |
| J Aなめがた麻生地区生産部会連絡協議会 | 50,000円 | 無指定 |
| 高柳至克 | 10,000円 | 無指定 |
| 寺内泰龍 | 20,000円 | 無指定 |
| 高柳とよ子 | 10,000円 | 無指定 |
| 根本富美男 | 10,000円 | 無指定 |
| 高橋武人 | 20,000円 | 無指定 |
| なめがた創生会 | 50,000円 | 無指定 |
| 山口満雄 | 30,000円 | 無指定 |
| 内田隆俊 | 20,000円 | 無指定 |
| 戸大建設工業株式会社 | 25,000円 | 無指定 |
| 新堀明 | 20,000円 | 無指定 |
| 一二三会 会長 阿部剛 | 41,201円 | 無指定 |
| 貝塚憲司 | 20,000円 | 無指定 |
| 匿名 | 10,000円 | 無指定 |
| 匿名 | 18,000円 | 無指定 |

物品寄付

| 預託者名 | 預託品 | 指定先 |
|------|--------|------------|
| 古渡俊明 | 車椅子2台 | 無指定 |
| 田中四郎 | 座布団・毛布 | 無指定 |
| 匿名 | 砂糖4kg | 北浦地区給食サービス |



「ふれあいランドにて行われた一二三会の餅つき大会」の様子

広報委員

| | | | |
|------|-------|----|------|
| 委員長 | 代々城千尋 | 委員 | 熊谷一男 |
| 副委員長 | 森田幸雄 | | 渋谷節夫 |
| 委員 | 磯山正子 | | 菅谷京子 |
| | 小貫敏子 | | 新堀文江 |
| | 漢那浩子 | | 横田照実 |

行方市善意銀行

平成29年2月1日から29年5月10日までに善意をお寄せいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。



なめがた創生会



JA なめがた麻生地区生産部会連絡協議会

編集後記

「1週間お元気でしたか?」と、言いながらお弁当をNさんに手渡すと、「どうにか生きていましたよ。」と返答。なんとすばらしいお言葉!私は、『玉造給食サービス』の配達を担当させていただいています。

生きていくのは、とても大変だと感じていらっしゃる方もいるでしょう。私も感じています。生きづらい世の中だと感じてても死にたいと思っても、生きて!生きて!!生き抜きましょう!!!

.....

生きていることが、何よりもとうとい財産です。

漢那浩子